

2024（令和6）年度 第1回 高井戸小学校運営協議会 議事録

日時・場所： 2024（令和6）年04月06日（土）11:00～・高井戸小学校校長室

参加者： 鬼澤（会長）、廣野、山田（事務局）

青木、秋山、蘆塚、伊勢、下河、内藤、蕨南、和田（委員）

敬称略・所属・五十音順

欠席： 望月

議事録担当： 和田

配布資料： 『創立150周年記念 学校運営協議会（第2回）』

以下、[] は発言者を表す。

1. 会長挨拶 [鬼澤]

- 139名の新入生を迎えられたことを嬉しく思う。入学式で校長先生が1年生に読み聞かせた絵本は、互いの違いを認め合う内容だった。2年生の演奏といい、印象深い式だった。
- 本日は、①150周年記念式典に向けての組織体制について、②教職員とCSの交流をどう実現するかを主な議題として取り上げたい。

2. 学校長より [伊勢]

- 令和6年度のスタートとなった。CSメンバーは前年同様で入れ替わりはない。
- 桜満開での入学式に、平和な日本が続くことを強く願った。皆さまのご協力のもと、悲しい事故が二度と起きないようにという思いを込めた1000枚のフライヤーを、高井戸地区の事業所、町会、個別のお宅に配布することができた。将来を担う子どもの命を、皆さまと一緒に愛情を持って見守り、大事に育てていきたい。

3. 委員、事務局ともにメンバーに変更がないため、自己紹介は割愛

4. 150周年記念式典に向けて（昨年度1月の第6回CSで実施した150周年記念についての検討の続き）

<学校長からの案説明>

● 組織案について [伊勢]

- ① 地域の関連各位や140周年に関わった方々のお話を伺い、今回の組織案を作成した。
- ② 校外事業と、校内事業を同時並行で実施する。校外事業は町会・学校支援本部（F会）・同窓会から成る「実行委員会」が担当し、校内事業は教職員・PTA・旧教職員から成る学校内組織が担当することを想定している。この二つの組織の上に、実行委員会と学校内組織の長が参加する役員会を設置し、校外事業と校内事業の連携をとる。学校運営協議会は「創立150周年記念準備委員会」として、役員会と実行委員会、学校内組織の全体を見る。
- ③ 同窓会の全容は把握できないので、お気持ちのある方に役員会へ参加していただきたい。同時に、若い世代の同窓生にも学校を開放していくなどし、150周年への巻き込みを図りたい。
- ④ 実行員会の発足は6月を予定している。

● 事業内容案について [伊勢]

- ① 行事としては、「記念事業」「記念式典」「記念集会」「祝賀会」を考えている。
 - 記念事業としては、高井戸地域・高井戸小学校の歴史を学ぶものを計画中。全校朝会でのレクチャーなどを考えている
 - 記念式典には、杉並区長が参加する。
 - 記念集会は、子どもたちの発想やアイデアを活かしたものを体育館などで実施したい。

→ 祝賀会は飲食を伴うため、学校行事とは切り離し、有志で行うのがよいのではないかと考える。

② 寄贈品・記念品

→ 学校への寄贈品は、子どもたちの思い出になり、かつ学校が必要とするものが望ましい。学校の希望品をリスト化したい。

→ 児童や関係者への記念の品については、区からも予算が出る。文房具など、児童の思い出に残るものを考えたい。

→ 記念誌とともに、副読本の制作を予定している。この副読本は、3年生の学習で使用する。140周年のときのデータに10年分を追加して制作する。

● 実行委員会の構成案について [伊勢]

実行委員会には、町会の方々に寄付金を集めていただくことになるので、町会長さんたちを中心にお願いしたい。本日の案では、140周年のときの情報をベースに、お名前をピックアップしている。差異があれば教えていただきたい。

● スケジュール案について [伊勢]

140周年の際は本格的に動き出したのが式典1年前だった。今回は、2024(R6)年度6月に実行委員会を発足させ、年度内に計4回の委員会を実施したい。2025(R7)年度4月からは、2か月に1回のペースで計4回の委員会を実施し、10月4日の創立記念日を迎えたいと考えている。

<質疑応答>

● 内外の事業担当を分けた場合、全体連携はうまくいくのだろうか？ [蕨南]

→ フォーマルには役員会で行うのだろうが、日常的にはファミリー会に在籍しているPTA会員などと情報交換し、認識のズレを感じたらすぐに役員会関係者に確認を上げるなど、柔軟な対応をしていける体制に現状あるのではないだろうか [和田]

● 140周年のときの寄贈品は何だったか？ [秋山]

→ ディ스플레이モニターだった。現在、昇降口で活躍中 [伊勢]

● 浜田山小は70周年を迎えるが、スクリーンと校庭補修を希望していると聞いている [青木]

● 実行委員会を構成する町会、あるいは寄付を募る町会は、学区内の町会に限るのか？ [鬼澤]

→ 本日提示した案は、もともと高井戸小学校に縁のある町会を含めており、現在の学区内に限っていない。ひとつの町会が複数の学校に関係していると思うので、現実的な落としどころを探るためにも、皆様のご意見を伺いたい [伊勢]

→ 現在の学区には入っていないが、自分たちが高井戸小に通っていた頃は宮前地区も学区に入っていた [秋山]

→ 町会の区割りと学区域が微妙に違う。上高井戸町会は富士見丘小、高井戸中央町会は高井戸東小のエリア。140周年では、どの町会にどのように協力をしてもらったのかを、まずケーススタディとして知りたい。そのうえで、150周年ではどうするのが最適かを考えるのが良いのではないかと [蘆塚]

→ 高井戸東町会は、高井戸小と浜田山小の両方にまたがっているが、「現在の学区内」という方針であれば、参加すると思う [青木]

→ ここまでの皆様のお話を伺うに、現在の学区に関わる町内会のみを対象にするのが、シンプルで分かり易いのではないかと [鬼澤]

→ 次回までに、現在の学区に関わる町内会を調べておく [伊勢]

5. CSと教職員との交流について

- 昨年度、CS委員の皆さんから「管理職以外の教員とも交流の機会をもちたい」というご要望をいただいた。勤務時間の中で教員がCSに参加できるのは、土曜日の授業終了(11時20分くらい)から勤務時間終了時刻(正午)までの時間だろう。短い時間を有効に活用するために、前もってアンケートのような形でテーマをわたしておくなどの工夫も必要と考える。年間2回程度を想定しているが、いかが

だろうか [伊勢]

- 一昨年度にあったような、先生方による学習進度の発表などは含まれるのか? [蕨南]
→ 準備の労力や工数がかかるので、避けたい。特に準備資料なく、学年の課題などを話すなどであれば、たくさんの課題やアイデアを聞けると思う [伊勢]
- 先生方に余計な負荷をかけずに実施するための工夫が必要だと思う。既にある材料を活用できるとか、新規に資料準備を必要としないとか。例えば、過去に算数専科の先生がしてくれたプレゼンは、とても印象に残っている [蘆塚]
- 先生方の本音を聞きたい。教育格差や経済格差がとても気になっている。先生方が現場で感じていること、困っていること、どんな支援が欲しいのかなど、率直なご意見を伺いたい [青木]
→ 先生方から支援本部にいただいているリクエストをCSで共有できると、何が今必要とされているのかを知る一助になるかもしれない [和田]
→ 「地域に何ができるか」という観点へのヒントを、先生方から得たい [鬼澤]
- 児童が制作で使用する材料などを先生の方で用意するのも、とても大変だと感じている。また、学芸会の衣装や大道具なども先生方だけで作ってくださっているが、裁縫や制作が好きで得意な保護者有志の協力も得られると思う。展示会の掲示準備なども同様に、保護者や地域が協力できることがあるのではないかと [下河]
→ 学校支援本部で、保護者や地域のサポーターを募集することになった。このサポーターシステムがうまく機能すれば、先生方の負荷を一部軽減できるのではないかと考えている [和田]

6. その他

- 新たな学校情報配信システム「tetoru」の登録をお願いします [山田]

7. 事務連絡

- 次回の協議会は5月11日(土)の引き渡し訓練後、11時より開催 [山田]

以上